

パブリックコメントの実施結果について

佐世保市環境基本計画（中間見直し案）に対するパブリックコメントのご意見及び回答

○実施期間：令和4年12月12日（月）～令和5年1月11日（水）

○受付人数（ご意見の数）：3名（3件）

No.	ご意見の内容	回答
1	<p>俵が浦にあった養豚施設をかつて佐世保市は近隣の西海町に追いやり問題を解決したが、そこから排出されるアンモニアを含む排泄物は貴重な発電及び同時に発生するH2O。</p> <p>淡水不足とエネルギーを考慮するなら近隣市町村も考慮した計画が必要と考えます。</p> <p>?A 針尾などの牡蠣養殖業者は排出される牡蠣殻の処理に困っています。</p> <p>牡蠣殻は水の浄化効果があるのだから放置状態の上原水源地の水質改善に使用して水源確保を考慮すべきとかんがえます。</p> <p>?B 川棚町の自然破壊を進めながら我が市のみ良ければ良いと言った計画は間違っていると思います。</p> <p>池の中のカワズでは無くもっとグローバルな計画をして欲しいです。</p>	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>バイオマス資源による発電については、本計画の54ページにも検討をすすめる旨記載しており、現在、中部下水処理場における消化ガス発電を行っているほか、木質バイオマスによる熱源利用の可能性について検討をすすめています。</p> <p>また、水質浄化につきましては、水環境の保全に関する取り組み全体の中で本市に適した取り組みを検討してまいりたいと考えております。</p> <p>なお、佐世保市環境基本計画は、佐世保市が今後取り組むべき課題や、市民・市民団体・事業者の皆様に取り組んでいただきたいことについてまとめたものですが、その実施に際しては、必要に応じ、国や長崎県、近隣の市町と協力してまいります。</p>

No.	ご意見の内容	回答
2	<p>基本目標 2 安全・安心な生活環境の保全について。</p> <p>佐世保市南部水系下ノ原ダムの上流の環境整備を、佐世保市議会議長様や佐世保市水道局長管理者****様や水道局課長**様、**様等、陳情書を提出しましたが、全然、飲み水の安全性、安心性を無視されて来ました。</p> <p>その理由は、ダム湖の土地所有者の**様が、生前、池を作って鯉や金魚等を飼っていましたが、平成2年7月2日の大雨により、池が崩れ落ち、魚がダム湖に入りました。その魚が、30年間増え、大きくなり、魚釣りが絶えませんでした。僕の土地の横に、赤道があり、そこから、下のダム湖に下って、魚を釣っていました。鉛の重りがダム湖には、落ちていると思います。又、佐世保市水道局が、平成19年3月、下ノ原ダム再開発工事誌の11ページには、右岸側の道路以下については、既設ダム建設時に用地買収済みであること、と記載されていましたが、履行されていません。不履行になっております。つまり、下ノ原ダム上流の住宅地からは、台所の汚水や風呂の汚水、田畑の薬剤、消毒、肥やし、除草剤等が、下ノ原ダム湖に入っています。世界中でも環境汚染問題を解決していますが、佐世保市水道局長は、環境汚染の知識も知恵もありません。腐った水を佐世保市民に、飲ませて、満足しています。佐世保市民は、ダム湖に、汚染水が流れていることは、知りません。以前、赤線に、人が立ち入らない様に、ロープを張りましたが、切られました。こんな状態です。きっちりと、環境汚染問題を解決して頂きたい。柵を設けて欲しい、と言いましたが、予算がないのか、無視されました。パトロールするからと、逃げ口上でした。日曜・祭日等には、パトロールは出来ませんので、言い訳セール、と感じました。是非、今回の提案を実施してください。市民の安全・安心出来る飲み水を確保することです。子供や孫たちの為です。</p>	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>ご意見につきましては、下の原ダムに関するものと理解しますので、所管部局に申し伝えます。</p>

No.	ご意見の内容	回答
3	<p>望ましい環境像とは「豊かな自然と暮らしが未来にわたって続くまち」であり、それを実現するための基本目標の第1は、「自然環境の保全」であり、取り組みの方向性として、①海、山、川、里山の保全 ②生物の多様性の保全 ③自然とのふれあいの推進 ④地産地消の推進が挙げられています。その通りだと思えます。是非その方向性で、市も市民も事業者も共に取り組んでいけたらと願っています。</p> <p>しかし、佐世保市は、この方向性に真っ向から反する事業を推進しています。石木ダム建設です。石木ダムができれば、①清流も里山の暮らしも消滅し、②石木川の類い稀な生物多様性（淡水魚類や底生動物の種の多さは専門家が絶賛。例えば、熊本の川辺川と比べると、川の長さや面積は10分の1なのに、魚類の種は3倍！）も失われ、③近隣の子どもたちの貴重な川遊びや探検の場が奪われてしまいます。</p> <p>この基本目標は佐世保市だけが達成できれば良い、他市町は関係ない、ということでしょうか？仮にそうだとすると、佐世保市の事業によって隣の自治体の環境を破壊してもいいはずがありません。言行不一致。矛盾しています。</p> <p>石木ダムがなくても私たち佐世保市民は生活できています。どうしても建設するというのなら、この基本目標1は、残念ですが外すべきです。川棚町民や県民から見たら、佐世保市民は地域エゴの最たる市民だと見られるでしょう。</p>	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>本市の環境基本計画の中間見直しにあたり、その内容については基本的に賛同いただいているものと理解しております。とてもたのもしく、感謝いたします。</p> <p>本市の基本目標として定めている「豊かな自然と暮らしが未来にわたって続くまち」は、安心して市民が暮らせるまちづくりを進めるとともに、豊かな自然環境を後世に残していくことを基本理念に、石木ダムを始めとする生活環境を整えるために必要な各種事業と、自然環境の保全を両輪として進めていくことを前提としたものです。</p> <p>ご指摘の石木ダム建設にあたっては、事業主体である長崎県により環境影響評価が行われており、貴重な動植物の移植など、環境影響を最小限に抑えるために必要な配慮が行われると伺っております。</p> <p>したがって、石木ダム建設を理由としての本市環境基本計画の基本目標の変更は不要と考えております。</p>